

令和5年司法試験合格体験記

令和4年度修了(未修コース) 妻鹿 なのは

この度令和5年司法試験に合格いたしました、妻鹿なのはと申します。私は学部生の頃、サークルとアルバイトばかりでろくに勉強していなかったため、法律の基礎の基礎もわからない状態でロースクールに入学しました。そのため入学当初は、留年をすることなく修了できるわけもなければ、司法試験に一発合格なんかできるわけもないと思っていました。こんな私が3年間勉強を続けることができ、そして司法試験に合格するための学力をつけることができたのは、手放しで応援してくれた両親、私の疑問に丁寧に答えくださり指導してくださった先生方、私のどんな相談にも耳を傾けてくれてだらけそうになるとモチベーションを上げてくれた先輩、そして勉強しやすい環境を整えてくださりいつも身近で支えてくださった資料室の方々のおかげです。ロースクールで出会ったすべての皆様にこの場をお借りしてお礼を申し上げます、ありがとうございました。

入学当初は右も左もわからなかった私ですが勉強において意識していたことは、出来よりも効率を重視することでした。授業の課題や司法試験の過去問等を、「時間をかけすぎず、分からないところがあっても悩みすぎて沼にはまらないように、まずは書いて提出してみる。間違えたところは二度間違えなければよし」という考えでこなしていました。ほとんどの受験生が完璧な準備をして試験に臨むことは不可能だと思うので、出来にこだわりすぎず効率よく処理して、次に同じ問題が出たときに間違えないようにすることが大切だと思います。このように考えていたおかげでストレスなく勉強を続けることができましたし、授業やゼミに必死についていくうちに無理なく司法試験の合格に必要な学力を身につけることができましたと感じます。

後輩の皆さんが納得のいくロースクール生活を送ることができるよう祈っております。無理をしすぎず頑張ってください！